

大崎市役所本庁舎建設整備基本計画に対する皆さんからの意見を募集します

市役所本庁舎建設は、平成18年の市町村合併の協定項目で「古川地域に新庁舎を建設する」とされ、これまで調査、検討を行ってきました。

大崎市役所本庁舎建設整備基本計画(中間案)では、平成34年度中の本庁舎の供用開始を目指し、建設を進めていくこととしています。

この基本計画(中間案)に対する、皆さんからの意見を募集します。

■公表方法

①市ウェブサイトでの閲覧
(http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/10_250_29.html)

②窓口での閲覧

●政策課(市役所西庁舎4階)
●市政情報センター(市役所東庁舎1階市政情報課内)
●市政情報コーナー(市役所各総合支所地域振興課内)

■応募対象者

市内に居住または勤務している人、事業所を有する個人

または法人

■応募期間

2月1日(木)～21日(水)

■応募先

計画案に対する意見と氏名(名称)、住所、連絡先(電話番号など)を必ず記載し、次のいずれかの方法で応募してください。
※匿名、電話の意見には応じられません。

①持参の場合

月～金曜日(祝日除く)8時30分から17時15分まで
政策課または各総合支所地域振興課に持参

②郵送の場合

〒989-6188
大崎市古川七日町1番1号
大崎市市民協働推進部政策課に郵送(2月21日(水)消印有効)

③ファックスの場合

政策課(☎2427)に送信

④Eメールの場合

政策課(seisaku@city.osaki.miyagi.jp)に送信

大崎市男女共同参画推進審議会委員を募集します

大崎市における男女共同参画の推進について、市民皆さんと共に考えていくため、大崎市男女共同参画推進審議会の委員を募集します。

任期

4月1日～平成32年3月31日(2年間)

内容

審議会(年8回程度)への参加

対象

次の条件を満たす人
①市内に居住する満20歳以上

の人で、大崎市男女共同参画推進審議会に出席できる人

②男女共同参画の推進に関心のある人

③応募の時点で、公務員または市の他の審議会などの公募委員となっていない人

募集人員

1人

申込

2月1日(木)～15日(木)まで、所定の応募用紙と男女共

同参画の推進についての意見(800字以内、様式は自由)をまちづくり推進課(古川七日町1-1)へ持参または郵送(必着)

※応募用紙は、市ウェブサイト(<http://www.city.osaki.miyagi.jp/news/index.cfm/detail/22724.html>)または、

まちづくり推進課で配布します。

大崎市消費生活ウォッチャーを募集します

☎9125 ☎9595

消費生活に関する意見や情報を、消費者行政に反映させるために活動しませんか。

任期

4月1日～平成31年3月31日

内容

消費生活や食品表示調査に関する報告(月1回)、会議(年3回)への参加

対象 消費生活に関心があり会議に出席可能な市民

※市職員(臨時・非常勤含む)は応募できません。

募集人員 12人

報酬 年額1万2000円

申込 2月1日(木)～28日(水)に、①郵便番号 ②住所 ③氏

名 ④年齢 ⑤性別 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧日常的に食品を購入する店舗名 ⑨応募の動機を記入し、市政情報課(古川七日町1-1)へはがき、ファクス、Eメール(shisei@city.osakimiyagi.jp)のいずれかで申し込み(必着)

国民健康保険から見た市民の疾病の様子

☎ 保険給付課国民健康保険担当 ☎6051

会社員などが加入する社会保険や共済組合とは別に、自営業や農業など、勤務先の健康保険に加入していない人の医療を保障する制度が国民健康保険(国保)です。

国保は、加入している被保険者からの保険税と、国や県の負担金などを財源として、

市が運営しています。

規則正しい生活や健康診査などで自分の健康を守り、医療費の増加を防ぎましょう。

大崎市国保の医療費

平成28年度の大崎市国保の医療費は、高血圧や心臓疾患、脳血管疾患などの「循環器

系疾患の割合が高く、件数では全体の2割を占めています。

次いで、甲状腺障害や糖尿病などの「内分泌、栄養および代謝疾患」、関節障害や骨障害などの「筋骨格系および結合組織の疾患」が多くなっています。(図1)

心臓疾患、脳血管疾患などの「循環器系疾患」の割合が高く、件数と同じく全体の2割程となっています。

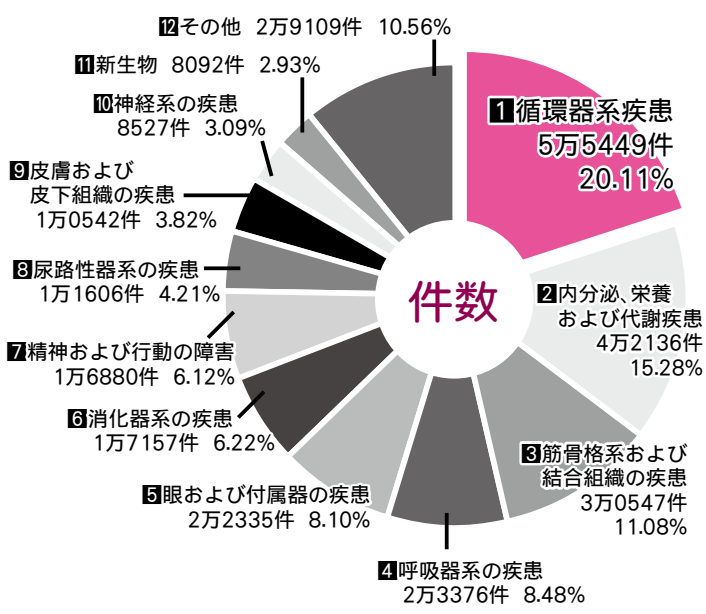
次いで、がんなどの「新生物」、腎不全や尿路結石症などの「尿路性器系の疾患」となっています。(図2)

健康な生活で医療費の増加を防ぎましょう

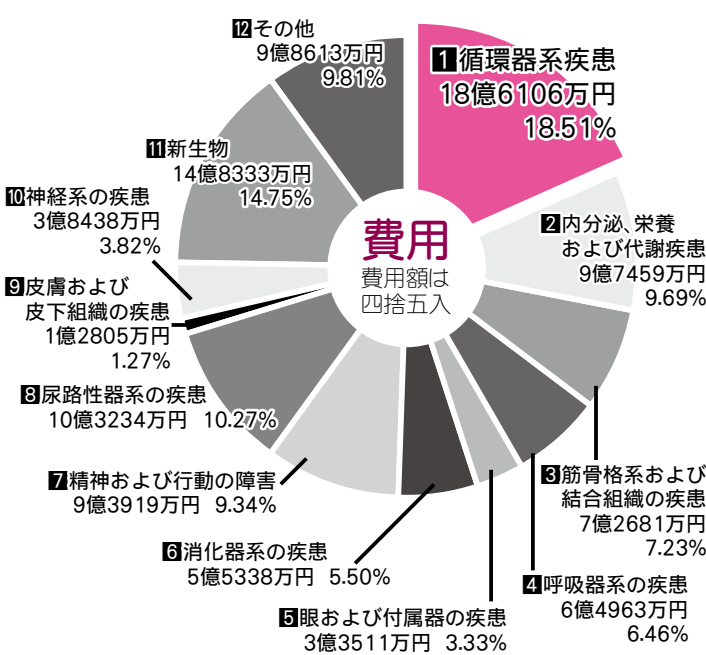
病気の予防や医療費の増加を防ぐために、食事や普段の生活習慣を見直し、健康な生活を心がけましょう。

また、定期的に健康診査や各種がん検診などを受け、疾病の早期発見・早期治療に努めましょう。

■疾病別件数割合(図1)



■疾病別費用割合(図2)



■一人あたりの医療費の平均額(図3)

出典:宮城県

